

区 分	事 項 名	部 名
参考事項	パソコン(PC-8201)による肥育牛収益シミュレーション	経 営

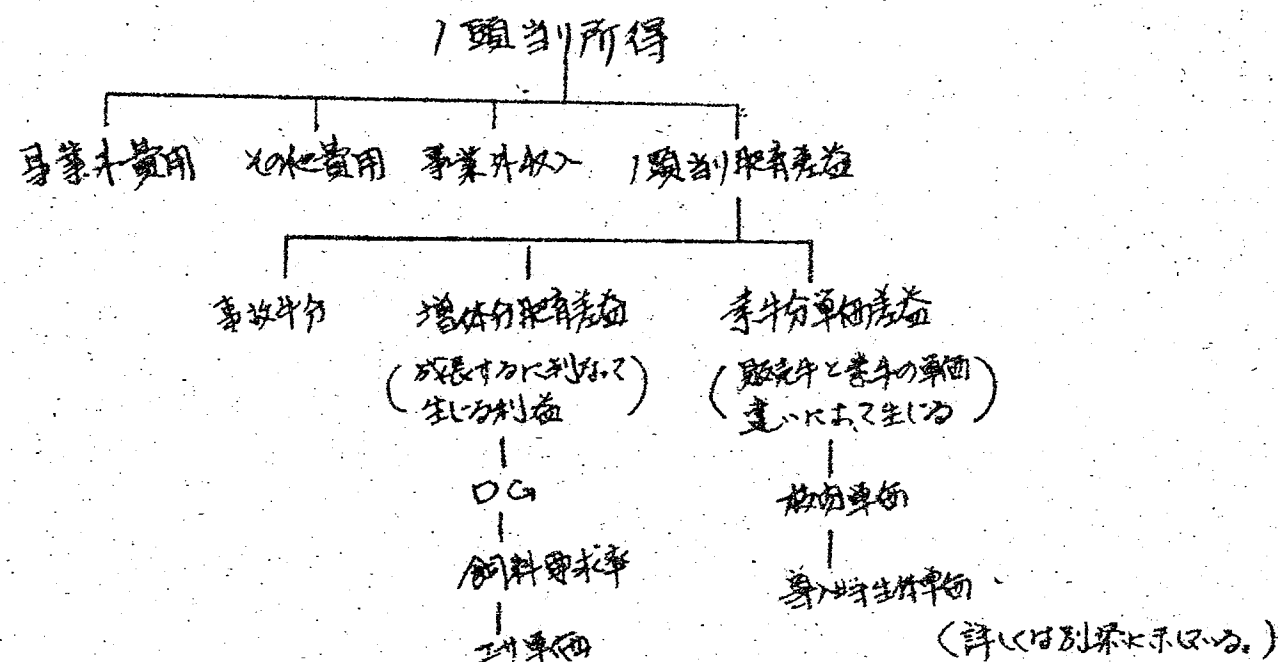
1. 背景とねらい

昨年、県内各畜産指導所にPC-8201が導入されたが、今回はこの機種用に、肉用牛肥育経営の経営診断の1助として、肥育牛1頭当りの所得形成のしかたを図式化する。所得シミュレーションのプログラムと、1頭当り必要所得に対する、素牛価格、放牧単価などの要件の限界値を示す要因シミュレーションのプログラムを作成してみたいので参考としたい。

2. 技術の内容

1). 所得シミュレーション

1) 肥育牛の所得は、下記の仕組みでつくられている。



2) 所得シミュレーションのプログラムは、下記の条件を入力した後、所得がどう変わるのかを推計するプログラムである。

(入力データ)

1度入力すると本体に記憶できるため、その後、何度も呼び出して使うことができる。

- ① 素牛価格 ② 導入時体重 ③ 出荷体重 ④ 歩留 ⑤ 枝肉率
- ⑥ 内臓率 ⑦ D G ⑧ エサ単価 (TDN1kg当り) ⑨ 対導入事故率
- ⑩ 放牧単価 ⑪ 事業外収入 ⑫ 金利に付する年分、エサ分 ⑬ 1頭当りエサ費料費用
- ⑭ 年当り出荷頭数

2) 要因シミュレーション

1) で入力したデータをもとに、1頭当り所得を指定した場合、下記の6要因の限界値を打ち出すプログラムである。(1頭当り所得を60,000円としたい時、素牛価格は20,000円以下に買えませんが、といった形である)

- ① 素牛価格 ② 導入時生体単価 ③ 販売額 ④ 出荷体重
- ⑤ 枝肉率 ⑥ エサ単価 (TDN1kg当り)

3. 指導上の留意事項

- 1) 今日使った機種は、本体 PC-8201 (NEC)、プリンター PC-6022 (NEC) である。
- 2) 入力データで金利率、エサ分、エサとになっているが、その他の金利については、1頭当り年間5,000円とされているので変更したいときはプログラムを修正する必要がある。
- 3) 飼料要求率については、日本飼養標準を基準としてプログラムが組まれており、飼料量を購入するコストも付加して入力されている。(新しい式に入るとはここでは省略する。)
- 4) このプログラムは、農家のデータも把握していることを前提としたものである。

4. 参考文献・参考資料

畜産経営・自己診断の手順と方法 : 中央畜産会

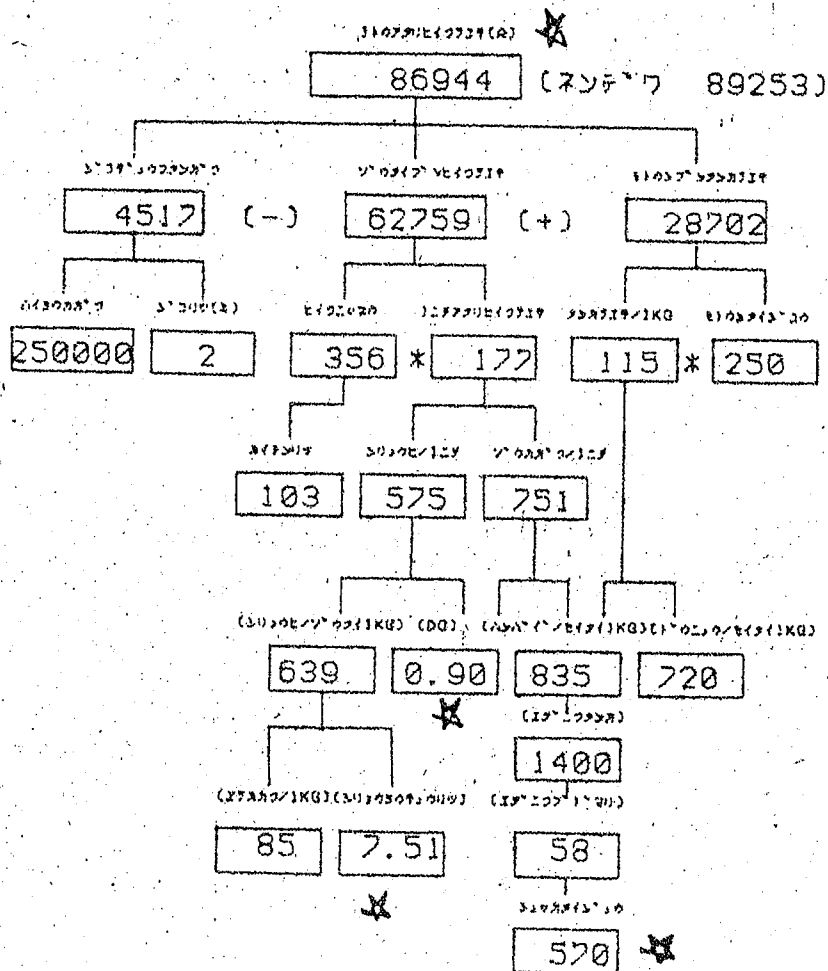
(出力例)

1. 所得シミュレーションの場合

(コンカインニューリョクデータ(タンカ))

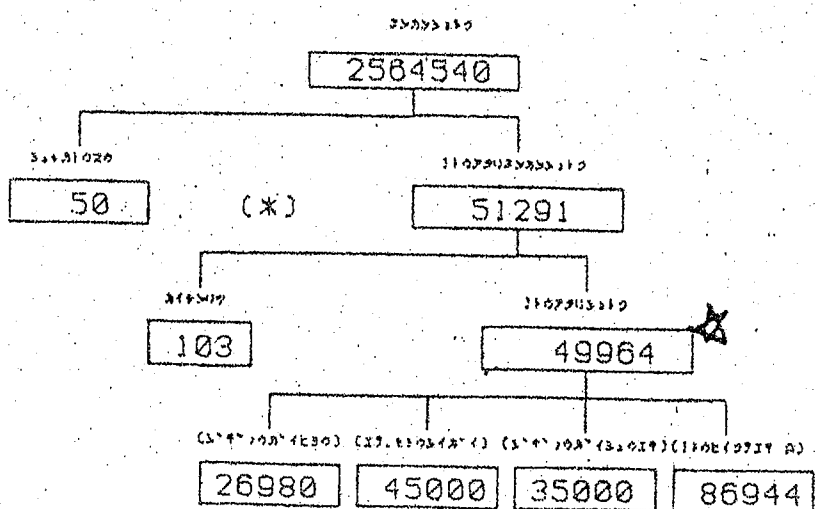
(1) エトウシカク	180000IN	(2) タイシ	250KG
(3) シュウカタイシ	570KG	(4) フット	58%
(5) イタニコタンカ	1400IN	(6) ナイン	13000IN
(7) D	G	0.90KG	
(8) イワタンカ	85IN	(9) シコリツ	2%
(10) ハイキ	250000IN	(11) シュウニウ	35000IN
(12) キンリ	エトウシ 7.5%, イワ 9.0%		
(13) イワ	エトチウイカ イヒヨウ	45000IN	
(14) シュウカトス	50トウ		

ヒイウチ・ユウシミュレートN01



ヒイウチ・ハナハ・イカ・ク イワ・イ エトチウ シコフン
86944 = 475840 - 204379 - 180000 - 4517

ヒイウチ・ユウシミュレートN02

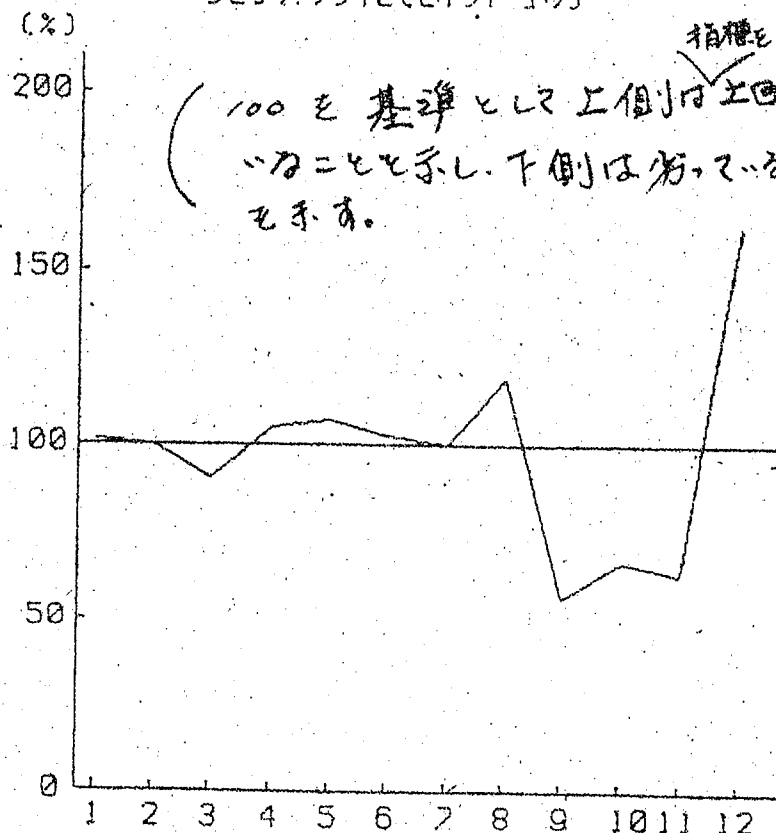


右に続く

で囲んだ所を変更したのかに注意
してある。

次ページへ

シヒョウトノタイヒ(ヒイウチ・ユウ)



(1) エトウシカク (2) タイシ (3) D G (4) シュウカトス
(5) イワ (6) ナイン (7) シコリツ (8) ハイキ
(9) キンリ (10) シュウニウ (11) イワ (12) イワ

コンカイン アナタノシヨトクリツハ 10.5% シタ。
エトスコシテ ス。 カンハ ヲツケタ サイ。

2. 要因シミュレーションの場合

アタリキホーシヨトク 50000IN アタリタメニハ。
カンサ・イノテ・ターノク・ンカイ・ハツチ・ノトオリテ ス。

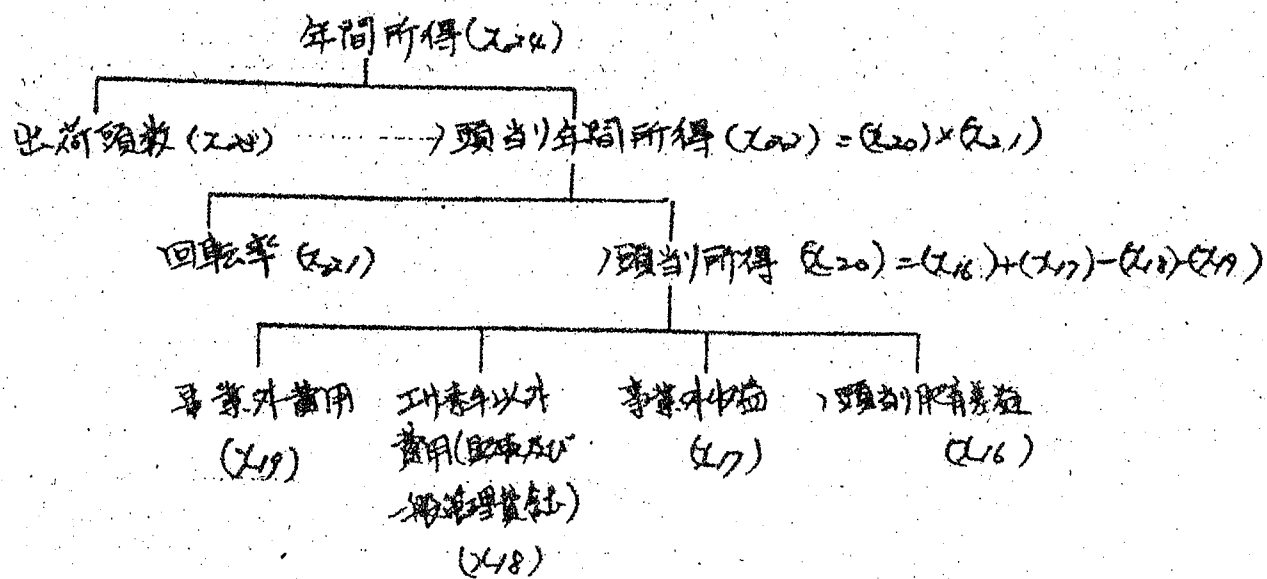
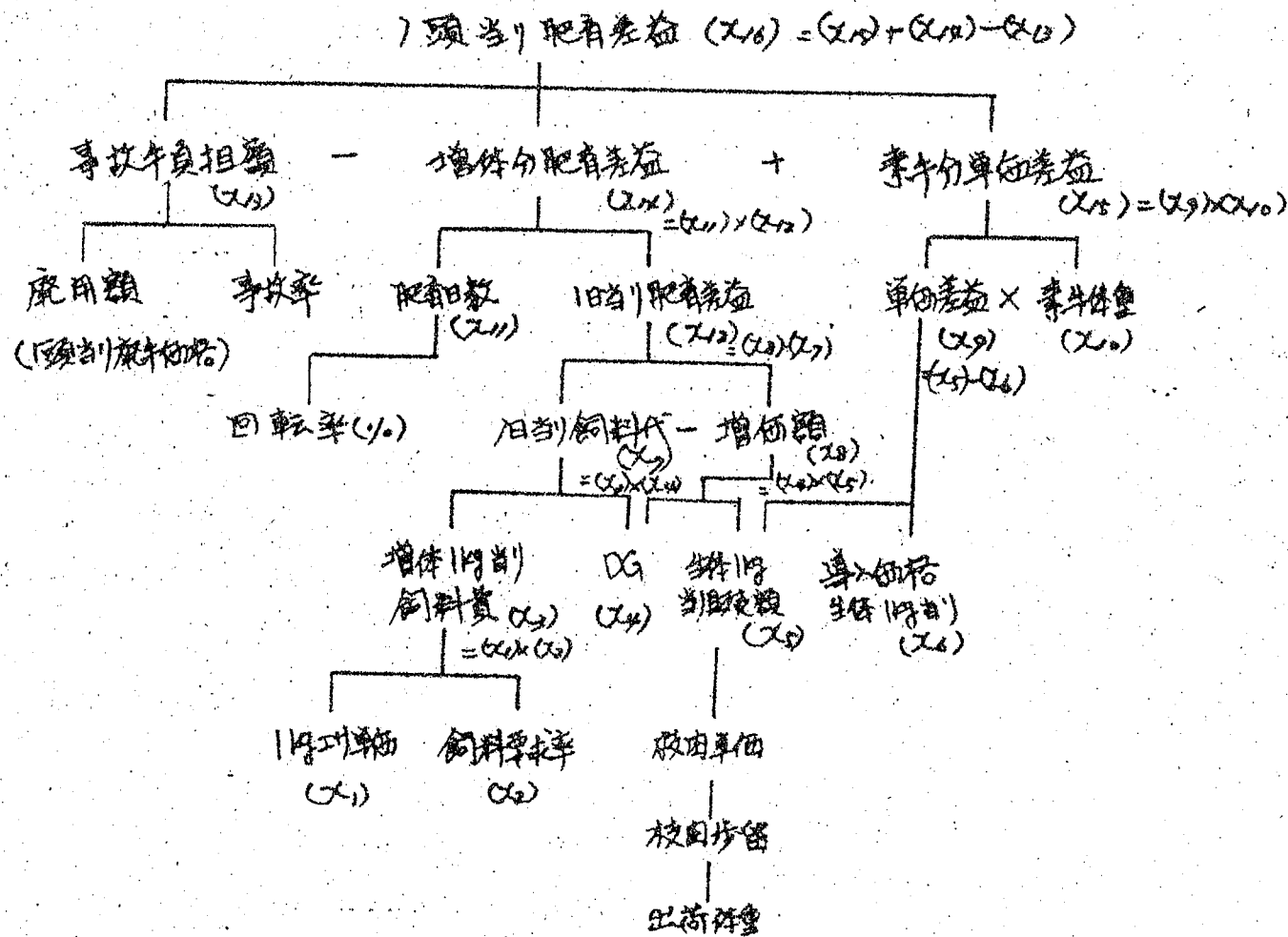
エトウシカクハ 179964IN エイタイタンカ 720IN
ハナハ・イカ・ク 475877IN シュウカタイシ 570KG
イタニコタンカ 1400IN イワタンカ 85IN

(コンカインニューリョクデータ(タンカ))

(1) エトウシカク	180000IN	(2) タイシ	250KG
(3) シュウカタイシ	570KG	(4) フット	58%
(5) イタニコタンカ	1400IN	(6) ナイン	13000IN
(7) D	G	0.90KG	
(8) イワタンカ	85IN	(9) シコリツ	2%
(10) ハイキ	250000IN	(11) シュウニウ	35000IN
(12) キンリ	エトウシ 7.5%, イワ 9.0%		
(13) イワ	エトチウイカ イヒヨウ	45000IN	
(14) シュウカトス	50トウ		

(参考)

(1) 所得形成の過程を次のとおりと考える。



中牧畜産金：畜産経営、自己診断対価の方法より

(2) 指標との対比に於てのグラフの1～12の要因大づいて下記に示す。

- ① 導入生体単価 ② 筋肉率 ③ DG ④ 飼料要求率
- ⑤ エサ単価 ⑥ 回転率 ⑦ 導入対事故率 ⑧ 素牛分単価差益
- ⑨ 増体分肥育差益 ⑩ 1頭当り肥育差益 ⑪ 事業外費用 ⑫ 工場素牛以外他費用